

# 東京帝國大學經濟學會 經濟論叢

第五十二卷 第六號

昭和十六年六月

哀辭 故山本博士遺影及署名

## 論叢

支那の農家と田賦附加税……………經濟學博士 八木芳之助

佛印幣制論……………經濟學博士 松岡孝兒

企業者勞働費論……………經濟學士 大塚一朗

貨幣流通期間と平均生産期間……………經濟學士 青山秀夫

## 時論

重慶政府の戰時物價政策……………十龜盛次

## 記事

山本博士逝く

追憶文

神戸 正雄 末廣 重雄 牧野 虎次 中瀬古六郎 本庄榮治郎

谷口 吉彦 松岡 孝兒 大塚 一朗 堀江 保藏 穂積 文雄

高木 眞助 蟠川 虎三 石川 興二 金持 一郎 岡本 清造

## 附錄

彙報

外國雜誌論題

本誌第五十二卷總目錄

哀 辭

昭和十六年五月十三日 京都帝國大學名譽教授 法學博士 山本  
美越乃先生 溘焉として逝去せらる 年を享くこと六十有八 嗚  
呼悲しい哉

先生は明治三十六年京都帝國大學法科大學の課程を修了し つい  
で大阪高等商業學校 山口高等商業學校に職を奉し 四十五年二月  
京都帝國大學法科大學助教授となり 大正七年教授に進み 昭和九  
年二月定年を以て退職し 同年三月本學名譽教授の名稱を授けらる  
本學部に於ける植民政策の講義は實に先生を以て翹まる 而も我  
國における斯學の理論的體系は 先生によりて始めて確立せられた  
る所にして 水産經濟も亦前人未到の領域を攻究せるものといふべ  
し かくてその專攻する所の學を以て學界に不朽の貢獻をなせしの

みならず また經濟學部長 評議員として 或は總長事務取扱として 本學の運營に力を致せり その功亦沒すべからざるものあり 先生はまた京都帝國大學經濟學會の評議員として 或は編輯擔任として 會務に盡瘁せられたること少からず 且本誌に寄せられたる幾多の研究は 學界不朽の論說として 本誌に光彩を加へたること幾何なるやを知らず 本會の先生に負ふ所亦少からざるを覺ゆ 先生居常極めて眞摯 その堅持するところの信念に従つて行動し 些事と雖も苟もせず その嚴正なる態度と謹厚なる人格とは 以て師表とするに足る 今や幽明境を異にしてまたその風格に接するを得ず 茲に謹みて先生の遺影を掲げ 以て哀悼の誠意を表す

昭和十六年五月

京都帝國大學經濟學會



山田文雄